

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
 ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	今の治水は、洪水を早く流すことばかりを考えている。流域の森林で保水したり、ダムで水を貯めるなど、自然のあり方に即した洪水調整も必要。(流域全体)	現在は治水機能を持つダムを最大限活かした洪水時の対応をしているところです。また、ご意見を踏まえP3-1の記述に「また、関係機関との調整を図り、風水害を防備する良好な山林づくりへの協力を努める。」を追加しました。	第3章第1節第1項洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川で河床掘削をおこなっているが、一方で美和ダムからは土砂を排砂している。河床掘削した箇所が、また元の通り埋まってしまうだけではないか？(三峰川5.0km付近)	バイパストンネルは、洪水とともに美和ダム湖に流入し、沈降堆積してしまうウォッシュロードと呼ばれる小さな粒子の土砂を、美和ダム湖を迂回させ下流へと導くものです。ウォッシュロードは美和ダムのような大きな貯水池では沈降しますが、通常の流れがあれば流れていってしまう土砂で、これまでバイパストンネルから3回放流していますが、下流の河川では堆積はしておりません。なお、今後も引き続き調査を行っていく予定です。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	西山の対策は？。河床上昇の原因。	ご指摘いただいた場所の詳細の位置をご連絡いただければ幸いです。現地を確認し、説明させていただきます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川や美和ダムの堆砂ダムは、土砂が堆積するたびに毎回掘削を繰り返して無駄である。洪水のたび毎に掘削せずすむようなもっと抜本的な土砂対策を考えるべきである。(三峰川～美和ダム)	現在バイパストンネルにより、堆積の抑制に努めております。今後、ご意見のとおりさらに抜本的な対策について調査検討して参りたい。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川中流部は(人の手で)礫河原再生事業をおこない自然の状態に近づいた。その後の洪水でさらに自然の状態に近づいている。結果、カジカも増えた。(三峰川5.0km付近)	自然再生事業は今後もモニタリングを行いながら継続する予定です。	第3章第1節第3項1(2)動植物の生息・育成・繁殖地の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	天竜川流域には、美和ダム、高遠ダム、釜口水門などの洪水調節施設があるが、それぞれの相互連携の体制は取れているのか？(流域全体)	整備計画の目標流量が安全に流下するよう、関係機関との情報伝達を行い洪水調節施設の機能を最大限に発揮させます。	第3章第2節第1項7ダム本体・観測機器等の維持管理P3-25
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムより下流の治水は美和ダムで調整できるが、美和ダムより上流の治水は調整できない。美和ダム上流部地域の安全性はどうやって確保していくつもりか？(美和ダム上流)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川の自然再生や樹木伐採は住民の協力で進められている。今後も、協働での環境整備を進めたい。(三峰川8.0km付近)	今後も地域協働による、ハリエンジュ等の樹木伐採やアレチウリ駆除活動を実施し、河川環境の整備と保全を進めていきますので、ご協力お願いします。	第3章第1節第3項1(2)動植物の生息・育成・繁殖地の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川の樹木伐採を住民の手で進めているが、まだ全体の20%程度しか終了していない。伐採材はストーブの薪にも使えるので一石二鳥である。(三峰川8.0km付近)	今後も地域協働による、ハリエンジュ等の樹木伐採やアレチウリ駆除活動を実施し、河川環境の整備と保全を進めていきますので、ご協力お願いします。	第3章第1節第3項1(2)動植物の生息・育成・繁殖地の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川みらい計画に添った整備をお願いしたい。	今後の河川整備に活かしていきたいと思っております。	—

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川、天竜川合流点付近に「かわらんべ2号館」を設置してほしい。子供たちの学習の場を設けたい。(三峰川0.0km、天竜川191.0km付近)	関係自治体等と連携が必要となります、現在のかわらんべのご利用もお願いいたします。	第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築 P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	天竜川全域の有害帰化植物の撲滅してほしい。(三峰川)	今後も地域協働による、ハリエンジュ等の樹木伐採やアレチウリ駆除活動を実施し、河川環境の整備と保全を進めていきますので、ご協力お願いします。	第3章第1節第3項1(2)動植物の生息・育成・繁殖地の保全・創生 P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	貴重種ばかりでなく、すべての生物に配慮してほしい。(三峰川)	多様な動植物を育む瀬や淵、礫河原等の環境の保全に努めます。	第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開・引堤 P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	ダムは環境に悪いと言われるが、実は環境によいのではないか。環境への影響が大きいのは面的な開発であり、都会のコンクリートやアスファルトで覆われた状態である。ダムは、建設時の影響はあるものの、ダム本体はそれほど大きな構造物ではない。また、ダムによってできる貯水池は山間部に水を貯めて、緑を育てる元にもなっており、自然環境にもやさしいのでは。(一般)	ダムは優れた洪水調節施設である反面自然環境への影響が大きいため今後とも多面的な検討を行っていきます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	カヌーや川遊びができる程度の流量を流して欲しい(三峰川9.0km付近)	三峰川の流水の正常な機能を維持するために必要な流量については、整備計画の上位計画である河川整備基本方針の検討により動植物の生息等に必要な流量は、現状の河川流量にて概ね満たされているという結果が得られています。今後は水利用の合理化により河川流量の回復に努めます。	第3章第1節第2項2(1)水利用の合理化 P3-12
天竜川上流河川懇談会	伊那	親水のためにも三峰川の流量をもっと増やしてほしい(流量を前よりも増やしてもらったが、まだ足りない)。毎秒2m ³ /s程度。(三峰川9.0km付近)	三峰川の流水の正常な機能を維持するために必要な流量については、整備計画の上位計画である河川整備基本方針の検討により動植物の生息等に必要な流量は、現状の河川流量にて概ね満たされているという結果が得られています。今後は水利用の合理化により河川流量の回復に努めます。	第3章第1節第2項2(1)水利用の合理化 P3-12
天竜川上流河川懇談会	伊那	前より放流量を増やしてもらったため、環境が再生された。(三峰川7.0km付近)	今後とも三峰川のような発電減水区間の維持流量の改善に努めます。	第3章第1節第2項4(1)発電減水区間対策 P3-12
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムから土砂を排砂しているが、その下流にある高遠ダムが堆砂してしまわないのか？(高遠ダム)	バイパストネルは、洪水とともに美和ダム湖に流入し、沈降堆積してしまうウォッシュロードと呼ばれる小さな粒子の土砂を、美和ダム湖を迂回させ下流へと導くものです。ウォッシュロードは美和ダムのような大きな貯水池では沈降しますが、通常の流れがあれば流れていってしまう土砂で、これまでバイパストネルから3回放流していますが、下流の河川では堆積はしておりません。なお、今後も引き続き調査を行っていく予定です。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化 P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダム付近を中央構造線が通っているが、ダムの地震時の安全性は大丈夫か？(美和ダム)	美和ダムは計画当時に中央構造線の影響に対する検討がされており、ダムの下には通っていないことなどから直接的な影響は無いと判断されています。また地震に対する強さについてもダム構造の基準を満足しています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	地震などで美和ダムが壊れてしまうと、ダムが再建されるまでの間、三峰川～天竜川の治水ができなくなってしまう。(戸草ダムなど)複数の施設を設けることで万が一に備えるべきではないか。(美和ダム)	日本のダムの耐震設計は、過去の大地震によって重大な被害を受けていないことから、その耐震性は十分に高いものと判断されていますので、複数の施設を設けることは考えていません。また、それぞれのダムは、治水、利水の目的を持って建設、計画していますので、美和ダムの機能を補うことは出来ません。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川総合計画は美和ダム再開発と戸草ダム建設がセットのはずだが。(美和ダム、戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化 P3-5

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムの方派堰では毎度堆積土砂の撤去をおこなっている。美和ダム1箇所だけで処理しようとせず、上流側に別の施設をつくるなど、別の対策を進めるべきではないか。(美和ダム分派堰)	美和ダムの恒久堆砂対策の計画に基づき、貯水池の最上流に配置している、粗い土砂を留める「貯砂ダム」では、洪水により土砂が流入した場合に資源の有効活用とあわせて砂利採取等により堆積土砂を除去しています。さらに上流の砂防ダムでも砂利採取により除去されています。	第3章第2節第1項8ダム貯水池の維持管理P3-26
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム予定地の住民が協力をおこなったうえで、補償交渉は99%すんでいるのに何故進めないのか。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	対策案を選ぶにあたって、金額の大小だけで判断せずに、土地を手放したり、様々な協力をこれまでおこなってきた協力者や住民の心も大切に判断してほしい。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	R153号バイパス、宮田村銭屋KK、(セブンイレブン)から東大沢川について1級河川であり、川の整備がされていないのか？。多くのヨシが生えている。又、下流に向かって右山側の地権者が管理道内に木を植えたり、整備者である伊那市でまったく管理道の手入れをしていない。L=265m区間もある。(185.0km付近)	ご指摘附近の支川については、地方自治体で管轄しております。ご意見をお伝えします。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	宮田村北ノ城の大岩がくずれてしまっている。 ※春近発電所の排水口の流水と天竜本流の水のぶつかる地点であり、天竜川の東の道から見ても景色が変わっているのがわかる。(185.0km付近)	山付け部分については巡視等により河道への影響等を考慮しつつ対策等が必要な場合は関係機関と調整しつつ、適切に対応していきます。	第3章第2節第1項3(1)河床・河岸の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	養蜂家は反対しているがニセアカシアは切る(宮田村大田切川)(2.0km付近)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めておりますが、地域の皆様や学識経験者からのご意見を反映し様に樹木伐採するのではなく、景観や河川利用者へ配慮した木陰の創出等のため樹木を残してもおります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) 今後も河川巡視等により繁茂状況を監視に努めつつ、地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行っていきます。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムの上流の管理をどうするか。(長谷湖貯砂ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	森木の整備を図る。(杉島周辺)	関係機関との連携を図り協力していきたいと思っております。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	諏訪湖と戸草、美和、小渋 各ダムとの放流調整は天竜上流部として必要だ。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	奥深い三峰川上流部の治水目的のダムは必要。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	温暖化と洪水は必ずあるが、現状のデータでよいのか。	温暖化による気象変動が起こす局所的な集中豪雨等の発生が懸念されているところですが、段階的な治水安全度の向上が必要なため、整備計画では既往最大洪水を目標としています。施設の規模を上回る洪水に対しては危機管理対策を推進し、被害の最小限化に努めていきます。	第3章第1節第1項3危機管理対策P3-10
大竜川上流河川懇談会	伊那	ある程度は山が崩れるのは当然だと思うが、崩れてもいい所とそうでない所と分けるべき。あぶないところには住まない。	天竜川上流域では過去より砂防事業を実施し土砂災害防止に取り組んでおります。今後も引き続き整備を進めていきたいと考えています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	土砂管理について、美和ダムから出されたものはどうするのか。高遠ダムにも排砂施設が必要か。(高遠ダム)	バイパストネルは、洪水とともに美和ダム湖に流入し、沈降堆積してしまうウォッシュロードと呼ばれる小さな粒子の土砂を、美和ダム湖を迂回させ下流へと導くものです。ウォッシュロードは美和ダムのような大きな貯水池では沈降しますが、通常の流れがあれば流れていってしまう土砂で、これまでバイパストネルから3回放流していますが、下流の河川では堆積はしておりません。小さな貯水池である高遠ダムには沈降堆積はしておりませんので、高遠ダムへの排水施設は考えておりません。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川整備が進み魚が減少した。(天女橋付近)	5年に1回程度の頻度で、河川水辺の国勢調査として魚類等の調査を実施しております。該当箇所を直接調査していないため、はっきりしたことはわかりませんが、今後の参考とさせていただきます。	第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開・引堤P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	天竜川の中で三峰川の位置づけを教えてください。どの程度の重要度と考えているのか。(美和ダム)	三峰川は天竜川上流域での最大の支川で重要度は高いと認識しています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	河原には本来木は生えていないものと思う。絶滅しかかっているのは河原特有の植物なので、これ以上樹林化が進まぬよう土砂移動させるべき。(芦沢警報所・7.0km付近)	整備計画では自然再生事業として樹木の伐開、河床の高い砂州の掘削を実施し本来の礫河原環境の再生を目指しています。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13 第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川の河川敷の樹木は残すところと区別がよい。(マレットゴルフ場・7.0km付近)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めておりますが、地域の皆様や学識経験者からのご意見を反映し様に樹木伐採するのではなく、景観や河川利用者へ配慮した木陰の創出等のため樹木を残してもおります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) 今後も河川巡視等により繁茂状況を監視に努めつつ、地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	ダムで下流の人の安全が守れるのか。(美和ダム・管理支所付近)	ダムによる洪水調節によりダム下流の洪水流量を減らすことができますので、整備計画目標規模の洪水に対しての安全性は確保できると考えています。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
 ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川の土砂の管理について、ダムの貯砂が排出されるとどのような悪影響があるのかを知りたい。美和ダムの貯砂は将来どのように処理されるのか不安。(美和ダム)	バイパストネルは、洪水とともに美和ダム湖に流入し、沈降堆積してしまうウォッシュロードと呼ばれる小さな粒子の土砂を、美和ダム湖を迂回させ下流へと導くものです。ウォッシュロードは美和ダムのような大きな貯水池では沈降しますが、通常の流れがあれば流れていってしまう土砂で、これまでバイパストネルから3回放流していますが、下流の河川では堆積はしていません。なお、今後も引き続き調査を行っていく予定です。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	昭和34年と36年の増水と美和ダムへの影響は大変なものであった。新しい計画では三峰川上流域の安全はどう考えているのか。今後が心配だ。(美和ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムの整備300億円(案)はどう使われるのか。	整備計画での治水対策事業として約300億円の案では、ダムに必要な容量を確保するためと、河道整備で合計約300億円を予定しています(現在のところでの概算金額です)。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	諏訪湖の放流430とも言われるが、600の可能だともいえるが、伊那市はどうなるか。(中央橋付近)	諏訪湖からの放流量は現在400m ³ /sとなっており、平成18年の洪水の再度災害防止に向けた激特事業が完成後には430m ³ /s放流とすることになっています。600m ³ /s放流は基本的には最終段階のことで、下流の安全性が確保できた時点で増量することになります。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	帰化植物のオオキンケイギクは抜く。(伊那市西春近河川敷)	現在、オオキンケイギクの種ができる前に除草(草刈り)を行っております。オオキンケイギクが堤防にもたらず法面の裸地化現象(芝等が無くなり土がむき出しの状態)対策の推進を検討しており、オオキンケイギク駆除に努めていきます。	第3章第1節第3項1(2)動植物の生息・育成・繁殖地の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	かすみ堤の中は家を建てないほうが良い。(三峰川・市役所前の道・1.0km付近)	ご意見のとおり今後残していく霞堤(開口部)については関係自治体と調整、連携により土地利用規制等を適宜、実施していきたいと考えています。	第3章第1節第1項3(3)狭窄部上流の水位上昇対策P3-11
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川内の立木を全て切る。(三峰川・0.0~1.0km付近)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めるとともに、今後も河川巡視等により繁茂状況を監視して参ります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) また、ハリエンジュ(ニセアカシア)等の伐採活動が、地域の皆様独自で、あるいは行政との協働で定期的実施されています。その際には参加者募集も行われています。 引き続き地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行っていきます。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	常に一定の水を流す(今までより多く)。(三峰川)	三峰川の流水の正常な機能を維持するために必要な流量については今回の河川整備基本方針の検討結果から現在の維持流量にて概ね満たされていると考えています。	第3章第1節第2項2(1)水利用の合理化P3-12

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
 ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	カワヤナギなどのヤナギ類を切らない(伊那市西春近沢渡)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めておりますが、地域の皆様や学識経験者からのご意見を反映し様に樹木伐採するのではなく、景観や河川利用者へ配慮した木陰の創出等のため樹木を残しております。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) 今後も河川巡視等により繁茂状況を監視に努めつつ、地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	川の利用について下流部の記載はあるが上流部は考えていないの？	上流部でもカヌー、ラフティングの船着き場等の河川空間整備を実施することとしています。	第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	諏訪湖から海岸まで堤防をつないでサイクリングロードを作ろう！！	水辺空間の活用についてはカヌー、ラフティング等の発着施設の整備を進めているところですが、ご意見を踏まえP2-6河川環境の整備と保全に関する目標に「・・・地域交流の拠点・水辺のふれあい拠点や環境学習の場とそれらをつなぐ遊歩道等のネットワークを整備し・・・」と追加しました。	第2章第3節第3項河川環境の整備と保全に関する目標P2-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	総体質問の時にした樹木の処理をどのように考えているかという質問については、みんなの河(川)の理解不足と現在ダムによる洪水被害が発生していないこともあり、そのような一般の人の考えは解るが、実際には問題がある。	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めるとともに、今後も河川巡視等により繁茂状況を監視して参ります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) また、ハリエンジュ(ニセアカシア)等の伐採活動が、地域の皆様独自で、あるいは行政との協働で定期的に行われています。その際には参加者募集も行われています。 引き続き地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川改修と土地利用について、特に霞を残す。	ご意見のとおり今後残していく霞堤(開口部)については関係自治体と調整、連携により土地利用規制等を適宜、実施していきたいと考えています。	第3章第1節第1項3(3)狭窄部上流の水位上昇対策P3-11
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川整備計画における伊那谷全体としての整備はどのようにするの？長野県としてはどこまでの整備を考えているのか？もっと具体的に河川整備計画の内容を教えてください。情報提供が少ないことが問題である。	治水については戦後最大を記録したS58、H18洪水規模に対して安全な河川として整備してまいります。諏訪湖、三峰川等支川の整備については、まだ具体的に定まっていますが、適宜、長野県等関係機関と調整を計りたいと考えています。情報提供については、今後、更にわかりやすい情報提供できるよう努めてまいります。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	当面整備計画が立案できると30年でと言われるが、どこまで実施出来るか。最近天竜川の改修費が伸びていない。	ご指摘のとおり公共事業全体の予算が縮減されている中ですが、概ね過大にならないようできる範囲での目標と整備内容になっていると考えています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川整備計画で最低限実施する物はなにか具体的に示してほしい。	整備計画に記載する内容は、整備計画期間内30年で実施することを記載しておりますが、今後の財政の状況等に大きく左右されるため、どこまで実施できるかということは具体的に示すことはできません。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダム排砂トンネルの土砂は高遠ダムに入るが、下のダムの機能は低下すると思えます。どうするか。(美和ダム)	バイパストンネルは、洪水とともに美和ダム湖に流入し、沈降堆積してしまうウォッシュロードと呼ばれる小さな粒子の土砂を、美和ダム湖を迂回して下流へと導くものです。ウォッシュロードは美和ダムのような大きな貯水池では沈降しますが、通常の流れがあれば流れていってしまう土砂で、これまでバイパストンネルから3回放流をしていますが、小さな貯水池である高遠ダムには沈降堆積はしておりませんので、高遠ダムの機能低下は無いものと考えております。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化P3-18

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムの発電用水を治水に活用すると言うが、建設当初のアロケーションの問題からして今回の投資額は何を考えているか。(美和ダム)	美和ダムの発電容量の一部を洪水調節容量へ有償で譲っていただくことを考えております。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダムを中止したときは三峰川上流部の護岸工事を完全にしてほしい。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	整備計画が20年6月に素案として対策区間に戸草ダムが計画されているが、この時期に中止は分かっていたのか？(戸草ダム)	現在、戸草ダム建設に伴う河川管理区間として河川法で指定されておりますので記載しております。	第2章第1節整備計画対象区間P2-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダムを作る事によって美和ダム－高遠ダムの順に放流すれば、岡谷の水門を放流しても天竜川の水量も防げるのではないか。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	治水、農業用水から考えても戸草ダムは必要である。今回の船形沢の崩壊から考えても流水の貯留が可能であり、農業に支障を起こさない。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	早急に三峰川の調査実施対策をする事。(船形沢)	舟形沢の土砂流出状況は、必要に応じ今後も監視していきます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川支流舟形沢が崩れ、粘土質が三峰川に流入。下流に住む者にとっては是非戸草ダム必要である。(三峰川)	戸草ダムの治水上の必要性は変わりませんが、長期的な目標に対する中間的な区切りとしての河川整備計画では、戦後最大洪水規模相当の洪水からの防御を目標とすること、並びに新規の工業用水や新規の水力発電の撤退といった状況の変化もあり、美和ダム等既設ダムの洪水調節機能の強化による案が早期の治水効果発現、経済面等で優位なため選択案とし提示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川、千代橋上流の河川が下がり両岸の沈床が出ている。河床が下がらないように何とか工事をしてほしい。(三峰川・市之瀬:千代橋付近)	長野県の管理区間のため、ご指摘の意見は長野県に伝えました。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川、市野瀬河原因の城の越取水について河床が下がって取水が困難。取水が行いやすいように何とか工夫してもらえないか。(三峰川・千代橋付近)	ご指摘の箇所は長野県が管理しております。ご意見をお伝えします。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	川床整備することにより排水への何らかの影響があるのかどうか、心配である。	河床の掘削等においては排水施設に影響のないよう配慮していきますが、よろしければ詳しいご意見をお聞かせ下さい	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	天竜川の河床低下により他の中小河川の河床も低下が見られる。今後の大雨時に河床が下がっていることにより影響があるのかどうか、不安あり。(棚沢川)	天竜川の掘削による河床低下が支川に影響を及ぼす場合は、合流方法を検討し適切に処置していきます。	第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開・引堤P3-1

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
 ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	H18災害対策工事の情報提供をしっかりとしてほしい。	平成18年洪水の再度災害防止として実施している激特事業については各市町村の広報誌に進捗状況のチラシを折り込んで住民の方への周知を計っているほか、インターネットで公表しておりますのでご参照願います。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	小三峰川。大雨のとき、あふれそう。浚渫工事また護岸工事等弱い場所、浅井護岸の点検、補修をおねがいします。(小三峰川)	伊那市の管理区間のため、ご指摘の意見は伊那市に伝えていきます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川の現在の川のごれによる天竜川の川底がどのように改良されるのか心配です。(三峰川合流地点)	定期的な水質調査を実施しており、三峰川の河川水質が悪化したとの結果は出ておりませんが、今後も継続して監視していきます。	第3章第1節第3項4(1)水質の維持・改善の推進P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	昨年3月度までの激甚災害工事で天竜川工事をみせていただいたが、工事が完了すると昨年の水害時より50cm水位が低下すると聞いたが、他の部分は大丈夫か。	激特事業では釜口水門からの放流量を増量した430m/sも含めて平成18年洪水と同規模の洪水が再度来た場合にでも洪水が安全に流下するよう整備を実施しています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	春近発電所下流については今後数年間、魚の成長が心配である。	濁水対策については施設管理者と連携しながら考えていく必要があります。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム計画中止について計画地から移住した人たちはどんな思いだろうか。(戸草ダム)	戸草ダムの建設のために住み慣れた土地をお譲りいただいた方々がおられることは十分承知しております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	つくり始めた戸草ダムはどうなるのだろうか。形はないが、用地取得済み、部分道路。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	南アルプスは脆弱な崩壊山岳。戸草ダムは必要不可欠の設備と考える。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	ダムの変わりに戸草ダム予定地～天竜川までバイパストンネル排水用を掘る。ダム、物をつくれればメンテがいる。少メンテの対策物。(戸草ダム)	具体的な検討をしていますが、バイパストンネルも天竜川までとなればかなりの長距離になり、戸草ダムと同規模、それ以上の費用がかかるとともに維持費用も要すると考えられます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	今朝の新聞で、戸草ダム建設のために故郷を捨てた人のコメントがのっていました。人と川との豊かなふれあいの確保を掲げた計画にその方たちの思いが無視されてよいものか考えてしまう。(戸草ダム)	戸草ダムの建設のために住み慣れた土地をお譲りいただいた方々がおられることは十分承知しております。戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム計画を見送らないでほしい。水没地の4世帯を移転し又、土地も取得してある。下流の住民が安全安心して住める様。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	57災58災の経験でダムの有効性を認識した。藤沢川(高遠)に流れ込む支流でダムのある沢とない沢に被害の大きな差が出た。急流の戸草にダムは絶対に必要である。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダムの建設を取りやめたとき、美和ダム上流域の安全確保はどうか。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	釜口水門は600放流できるものだが、30年先まで使えるのか？財源的に無駄な投資となっていないのか。(釜口水門)	釜口水門はご意見のとおり600m ³ /s放流が出来る施設として整備されているところですが、長野県によって十分な維持管理を実施しており耐用年数的にはまだ大丈夫と思われます。また整備計画内でも危機管理対策として下流で洪水が発生してなく、また洪水となる見込みが無い時に諏訪湖周辺が浸水被害等危険な状態な時に600m ³ /sまで放流ができるよう検討、実現化していきたいと考えています。	第3章第1節第1項3(4)諏訪湖周辺における被害軽減に向けた対策P3-11
天竜川上流河川懇談会	伊那	・河川多様性、一面性だとりカバーできなくなる。 ・メンテナンスの時代。橋、メンテで長持ちさせる。	河川整備においては多様な動植物を育む瀬や淵、礫河原等の環境の保全に努めます。河川管理施設等の工作物は計画的な維持管理によって施設を長く維持します。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13 第3章第2節第1項6許可工作物の適正維持管理P3-25
天竜川上流河川懇談会	伊那	小渋ダムバイパストネルの下流河床上昇への懸念について、目的は良く理解できるし、選択肢として分かります。しかし天竜川の治水を考える時、天竜川本川の河床上昇への懸念も評価いただき、天竜川の全体の治水のあり方を整理いただく事をお願いしたいと想っております。(小渋ダム)	小渋ダムのバイパストネルの整備にあたっては、事前に下流の河床上昇の検討しており結果として、治水上大きな問題はないと考えています。ただしあくまで予測検討であるため、バイパストネル運用後も継続的に調査を行い治水上問題が発生しないよう適切な対処を図りたいと考えています。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	・河川財源が苦しいから、こねくりまわしたdata数字根拠か？ ・いままでのつけがまわってきたか？	ご指摘のとおり公共事業の予算の縮減の影響を河川事業も受けております。その限られた予算の中で最大限の効果がでるよう検討して地域の治水安全度が少しでもあがるよう整備を実施していきたいと考えています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川の景観にも考えを持ちたい。「例」堤防サクラ並木。	三峰川北側の堤防等では、堤防の幅を川とは反対側に大きくし、その拡幅した所に桜並木の整備を関係自治体と連携しながら実施しております。地域との協働により河川景観を含めた環境への配慮に努めていきます。	第3章第1節第3項河川環境の整備と保全に関する事項P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川に親しむ様、工法に工夫を。広場の活用。(三峰川)	関係機関と連携しながら水辺ふれあい拠点の整備を進めます。	第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川水系は県立公園。もう少しPRも必要か。(三峰川)	河川の利用価値を高めていくことも重要であるため、ご意見を踏まえP3-28の記述を「地域住民等の参加と連携による天竜川の河川利用と、これを基軸とした活力ある地域づくりの推進を図る。」と修正しました。	第3章第2節第3項2(1)河川愛護団体等との連携P3-28

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川工事主導で河にある樹木が無くなっている。小鳥の鳴き声失い、自然破壊の危惧。(二条橋～水神橋)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めておりますが、地域の皆様や学識経験者からのご意見を反映し様に樹木伐採するのではなく、景観や河川利用者へ配慮した木陰の創出等のため樹木を残しております。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) 今後も河川巡視等により繁茂状況の監視に努めつつ、地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	樹林は山に、河川の樹木は伐材して、ダムを造る前の河川にしてほしい。(水害、洪水予防)。樹木の丈が堤防を越えている。(三峰川)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めるとともに、今後も河川巡視等により繁茂状況を監視して参ります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) また、ハリエンジュ(ニセアカシア)等の伐採活動が、地域の皆様独自で、あるいは行政との協働で定期的実施されています。その際には参加者募集も行われています。 引き続き地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川。河川内の樹木を処理すべき。洪水の発生時の下流部の災害への要因大。大水発生後の河川内の環境が悪い。(三峰川・0.0～1.0km付近)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めるとともに、今後も河川巡視等により繁茂状況を監視して参ります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) また、ハリエンジュ(ニセアカシア)等の伐採活動が、地域の皆様独自で、あるいは行政との協働で定期的実施されています。その際には参加者募集も行われています。 引き続き地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	河床整理をして柳等の木を切ったので、昔の川に戻った感があり、これが本来の川の姿と思う。(三峰川・0.0～1.0km付近)	整備計画では自然再生事業として樹木の伐開、河床が高い砂州の掘削を実施し本来の礫河原環境の再生を目指しています。	第3章第1節第3項2(1)特徴的な景観の維持・形成P3-14
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川の中州にある立木を切ってほしい。昔の川の景観に。又、災害の元になる。(三峰川・0.0～1.0km付近)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めるとともに、今後も河川巡視等により繁茂状況を監視して参ります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) また、ハリエンジュ(ニセアカシア)等の伐採活動が、地域の皆様独自で、あるいは行政との協働で定期的実施されています。その際には参加者募集も行われています。 引き続き地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川の水が白くにごっていることが多いが、ダムによりにごりはとれるだろうか？(三峰川)	定期的な水質調査を実施しており、三峰川の河川水質が悪化したとの結果は出ておりませんが、今後も継続して監視してまいります。	第3章第1節第3項4(1)水質の維持・改善の推進P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	当面30年で1/50を考えるとのことだが、最終型はその後でよいのだろうか。	河川整備計画の目標は現在の財政面、社会面、環境面等から総合的に実現可能なレベルにより定めたもので、将来的な目標に向かう途中として段階的な機能向上を図っていきたく考えています。	—

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川敷の樹林50年～70年経つ巨木直径120cmものあった。河川行政どのように受け止めているか聞きたい。天竜川環境守る会代表の酒井(本人です)。(春近大橋下流付近)	天竜川の礫河原が減り樹林化が進んでいることは調査等により明らかとなっています。整備計画では自然再生事業として樹木の伐開、河床が高い砂州の掘削を実施し本来の礫河原環境の再生を目指しています。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	環境整備で河川の樹林伐採した。6/1～9/30まで。用水路があり一歩も河川敷に入れない。アレチウリ駆除も出来ない。この件についてお考えを。(春近大橋下流付近)	地域の方々による自主的な河道内樹木伐採やアレチウリ駆除の際に、作業が困難な川の中州等については、場合により仮設の橋を設置し、協力させていただいたこともあります。河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めるとともに、今後も河川巡視等により繁茂状況を監視して参ります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) 引き続き地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	H18豪雨災害で殿島橋が落橋した。それは本流が長年同箇所のみで流水していたためと思う。河川平均して流れていたなら、この事故発生しなかったと思う。(春近大橋下流付近)	水の流れは河道の元々持つ特性によるところも大きいため、河川監視を強化し、そのような編流する箇所を発見した場合は適切な処置を講じるようにしたいと考えています。	第3章第2節第1項3(1)河床・河岸の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムの排砂上流から出る土砂は高遠ダムへ堆積するか。高遠ダムの止水量としては有ると思うが、実際の水量は土砂で減るのでは。又、高遠ダムの土砂はどうする。(高遠ダム)	バイパストネルは、洪水とともに美和ダム湖に流入し、沈降堆積してしまうウォッシュロードと呼ばれる小さな粒子の土砂を、美和ダム湖を迂回して下流へと導くものです。ウォッシュロードは美和ダムのような大きな貯水池では沈降しますが、通常の流れがあれば流れていってしまう土砂で、これまでバイパストネルから3回放流をしていますが、小さな貯水池である高遠ダムには沈降堆積はしておりませんので、高遠ダムの機能低下は無いものと考えております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムへ300億かけるか。なにをするのか？(美和ダム)	整備計画での治水対策事業として約300億円の案では、ダムに必要な容量を確保するためと、河道整備で合計約300億円を予定しています(現在のところでの概算金額です)。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムは100年もつというが、堆積の影響から不安(30年代の工事)。堆積がダムに押されることが考えられる。(美和ダム)	美和ダムでは、これまでダム湖の掘削のほか、恒久堆砂対策施設を整備しており、今後の貯水池容量の維持を図ることが可能です。堆積土砂がダムを押し出す力は当初計画から考慮されているためダムが動く心配はありません。	第3章第1節第4項1(2)①美和ダム恒久堆砂対策P3-19
天竜川上流河川懇談会	伊那	洪水に備えて今も残っている「かすみ堤」を作ることが必要。河川の姿が変わりつつある。自然の姿を歴史として残したい。(三峰川榛原河川公園)	霞堤は先人の大きな知恵として継承していきたいと考えています。	第3章第1節第1項3(3)狭窄部上流の水位上昇対策P3-11
天竜川上流河川懇談会	伊那	<発電水の買取について>エコな水力発電を進めようとしているのに、なぜ？浜岡原発は汀線が下か？あぶないのにまだ原子力にたよるのか。(戸草ダム)	既設ダムの有効活用には、発電への影響が避けられませんが、影響を極力少なくするような配慮が必要と考えています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	なぜ水力発電をやめるのか。自然保護が叫ばれている最中に。(美和ダム)	美和ダムの発電容量の一部を洪水調節容量へ有償で譲っていただくことを考えております。	—

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	ダム無しで災害を防げるのになぜ100億円も今まで使って来たのか。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	明治→治水。昭和→利水がプラス。平成→環境がプラス。この流れに逆行。(戸草ダム) 伊那谷における人と河川との係わり合いの歴史をみた時、明治時代には洪水から人々の暮らしを守るために治水対策が行われ、昭和に入ると利水に対する考えがプラスされ、平成には環境面に配慮した河川整備が求められるようになった。しかし戸草ダム建設を見送るという判断は、環境や安全に配慮した水力発電を中止し、多くの洪水や土砂災害に見舞われてきた地域の安全を脅かすことになるので時代の流れに逆行していると思う。	美和ダムの発電容量の一部を洪水調節容量へ有償で譲っていただくことを考えております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	今まで地域が進めてきた事項を忘れないで。(戸草ダム)	戸草ダムの建設のために住み慣れた土地をお譲りいただいた方々がおられること、地域の方々の協力を得てこれまでの事業を進めてきたことは十分承知しております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	渇水期、ダムの水が利用できないと農業が困る。農業の立場から。(戸草ダム)	今回提示した案では、これまでと変わらない水利用の形態となっています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダムの農業用水の確保が必要なはず。(戸草ダム)	今回提示した案では、これまでと変わらない水利用の形態となっています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	農業従事者は渇水期の農水利用に期待していた。(戸草ダム)	今回提示した案では、これまでと変わらない水利用の形態となっています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダムは必要。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	下流の人の生活を守るため、自分の土地をなげうった方がいる。予算の問題でダムの中止は反対。(戸草ダム)	戸草ダムの建設のために住み慣れた土地をお譲りいただいた方々がおられることは十分承知しております。戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	下流の人々の生活を守るために、ダム上流の人々は何をしたかを考えた時、地域に何の説明もなしにダム中止を判断したことに対して、もっと配慮必要だった。涙が出てくる。(戸草ダム)	戸草ダムの建設のために住み慣れた土地をお譲りいただいた方々がおられること、地域の方々の協力を得てこれまでの事業を進めてきたことは十分承知しております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	被災箇所の被災原因を明らかにした上で対策を考えてほしい。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策について、P3-5の記述を「既設美和ダムの利水容量の一部振替等により、洪水調節機能を強化する。また、美和ダム貯水池において恒久堆砂対策施設を整備するとともに、美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。今後も河川の整備に関しまして、ご協力をお願いいたします。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	ダム湖に堰きとめられて堆積したヘドロが洪水時に下流に流れてくることによって魚の生態系に影響を及ぼすのでダムを造ることは基本的に反対である。しかし、地域の災害の歴史を考えると、そこに住んでいる方の安全も大切である。したがって、ダム湖に堆積したヘドロの影響が下流域にもたらされない方策があるのなら、ダムを造ることに賛成。(戸草ダム)	ダム建設に当たっては、美和ダムで現在実施しているバイパストンネル施設のように、土砂がダム湖に堆積しないような工夫をしていくことが必要と考えています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	流砂造浜の考え方に下流からエール。	ご意見を参考にさせていただきます。	第2章第3節第4項総合的な土砂管理に関する目標P2-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川環境課や国総研では「河畔林を守る」としているがなぜ伐採するの？(伊那ひ管付近・182.0km付近)	樹木がそれほど密生していない状況であれば大きな問題にはなりません、密生した場合には洪水の流下を阻害することになります。そのような樹木は除去(抜開)することにより洪水がスムーズに流れることができます。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13 第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	ザザムシ、アユ、川の恵みがたくさんありました。(天竜大橋付近)	瀬や淵、礫河原等の環境の保全に努めます。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	ハリエンジュ(ニセアカシア)が邪魔。景観によろしくない。	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めるとともに、今後も河川巡視等により繁茂状況を監視して参ります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) また、ハリエンジュ(ニセアカシア)等の伐採活動が、地域の皆様独自で、あるいは行政との協働で定期的実施されています。その際には参加者募集も行われています。 引き続き地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	伊那峡、坂戸峡、がりゅう峡、天竜峡、まさか掘削？	河川整備計画の目標流量に対しては、鷲流峡の対策をする必要があります。その方法については今後地域の方の意見を伺いながら検討を進めていきます。その他の狭窄部については掘削しません。	第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開・引堤P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	カワウのふんで真っ白なのでカワウを駆除してほしい。	天竜川上流域では新たな課題と思いますが、関係機関と連携して対策を考えていきたいと思ます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	ハリエンジュとカワヤナギの違いに気がつかないと大変。	ご意見を参考にさせていただきます。	第3章第1節第3項1(2)動植物の生息・育成・繁殖地の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	川に親しむ事ができるように整備をして頂きたい。ラフティングやカヌーなどによる観光も今後大切になって来ると思う。	より利用しやすい川とするためカヌー、ラフティングの船着き場等の河川空間整備を進めていますが、ご意見などを踏まえP3-28の記述を「地域住民等の参加と連携による天竜川の河川利用と、これを基軸とした活力ある地域づくりの推進を図る。」と修正しました。	第3章第2節第3項2(1)河川愛護団体等との連携P3-28

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	護岸の整備の形態は景観と環境面から多自然工法を取り入れてほしい。	整備の段階において護岸の施工形状、工法等を工夫したいと思います。	第3章第1節第1項2堤防強化P3-6
天竜川上流河川懇談会	伊那	三日町のあとはザザムシがだめだった。掘削してもらいたいようぶ。(三日町)	河道掘削に伴う変化は避けられませんが、できるかぎり瀬や淵、礫河原等の環境の保全に努めます。	第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開・引堤P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	環境のテーマがぼやけている。ヤナセンジョウを残したほうがよい。昔のような皆が集まる川になってほしい。	よろしければ詳しいご意見をお聞かせ下さい。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	「治水」「利水」「環境」「住民の意見のはんえい」、なぜ環境の色がうすいのか。	ご意見は参考にさせていただきます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	第4次水環境保全計画でも環境の目標を数値化しました。出来るはず。	天竜川の礫河原が減り樹林化が進んでいることは調査等により明らかとなっています。整備計画では自然再生事業として樹木の伐開、河床の高い砂州の掘削を実施し本来の礫河原環境の再生を目指しています。礫河原は一定の洪水攪乱の繰り返しにより維持されていくと考えていますが、どこまで回復できるかまでの数値目標とするまでの技術に至っていません。現状では河川環境の整備はモニタリングをしながら進めていきたいと考えています	第3章第1節第3項1(2)動植物の生息・生育・繁殖地の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	整備計画がわかりづらい。わかりやすい資料を公開してほしい。	できるかぎりわかりやすい情報提供に努めます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	シラサギがいけすの鯉を食べてしまう。春日公園に巣がある。駆除してほしい。(春日公園)	河川区域外のことと思いますので、関係機関に伝えてまいります。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	むかしは畑があつてじいさんとよく行った。	天竜川を身近に感じていただけるよう整備を進めたいと考えております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	分水嶺を越えて、水の流れを変えた場合、水収支の面で生態系に影響があるのでは？	ご意見のとおりと考えます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	川は本来、水が流れてこそ生態系が保たれると思います。流量が保たれる事で支障木もあまり生えなくなるはず。	河川整備基本方針では、ご意見のような動植物の生育・生息などを配慮して流水の正常な機能の維持のために必要な流量を設定しており、整備計画では、その一部を回復するよう努めます。また、自然再生事業として樹木の伐開、河床の高い砂州の掘削を実施し本来の砂礫河原環境の創生を目指しています。砂礫河原は一定の洪水攪乱の繰り返しにより維持されていくと考えています。	第2章第3節第2項河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標P2-5 第3章第1節第3項1(2)動植物の生息・育成・繁殖地の保全・創生P3-13

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
 ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	ダムにより土砂をせき止めてしまう事によって、河口の生態系を保持することがむずかしくなっている。特に海岸浸食。	現状の土砂動態及び流砂による環境変化の把握に努め、その結果を分析して土砂対策に反映し、順応的な土砂管理を推進することを考えております。	第2章第3節第4項総合的な土砂管理に関する目標P2-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川上流域。水力発電は大型のものだけでなく、小水力発電に目を向けるべき。その場合農業用水を使う事が水利権の関係で非常にむづかしい。農水省と話し合いをして頂けませんか。	農業用水等に従属する水利使用の許可手続きに関して、完全従属する場合等は審査の一部を省略するなど簡素な手続きや添付図書の省略をすることとしています。詳細は国土交通省河川局ホームページをご覧ください。Http://www.cbr.mlit.go.jp/tenryo/	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川上流域。国交省だけではなく、総合的に取り組んでほしい。気候異変による集中豪雨が増えているので、特に上流域の森林整備に予算を大幅に増やしてほしい。という意味で省庁を越えての取り組みが必要。	ご意見を踏まえP3-1の記述に「また、関係機関との調整を図り、風水害を防備する良好な山林づくりへの協力を努める。」を追加しました。	第3章第1節第1項洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川支川の方まで河川管理を責任もってもらいたい。管理道路も設置。	現行の河川法においては国、県、市町村がその河川の重要度に応じて河川管理を分担しております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	藤澤川に注ぐ支川の奥は過疎地域であり、河川清掃などの管理が難しくなっている。河川整備をしてほしい。また管理道路も設置してほしい。	現行の河川法においては国、県、市町村がその河川の重要度に応じて河川管理を分担しております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	片倉公民館の上方で土砂崩壊がちよくちよくあるので、砂防堰堤があると安心できる。造ってほしい。（高頭町、藤沢川流域：滝の沢）	従来伊那市からそのような情報をいただいております。伊那市と共に現地の調査を行います。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	58災害で山の崩壊により水が溜まり、鉄ぼう水で命を落としそうになった経験あり。後東の入砂防ダムができたので安心。（東の入沢・藤沢川上流）	天竜川上流域では過去より砂防事業を実施し土砂災害防止に取り組んでおります。今後も引き続き整備を進めていきたいと考えています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	カワラグミだけが川の中に生えていた。そういう状態に戻したい。川の中にニセアカシア、ヤナギが繁茂している。水害の時心配、切ってほしい。（高遠）	整備計画では自然再生事業として樹木の伐開、河床が高い砂州の掘削を実施し本来の礫河原環境の再生を目指しています。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	ヤナギをとると子供たちがカブトムシをとれない。アカシアも切るとハチミチがとれない。困る人もいるが、昔のままの自然に戻すべき。	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めておりますが、地域の皆様や学識経験者からのご意見を反映し様に樹木伐採するのではなく、景観や河川利用者へ配慮した木陰の創出等のため樹木を残してもおります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わるにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進（自然再生事業） 今後も河川巡視等により繁茂状況の監視に努めつつ、地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	伊那峡、バックウォーターの災害あり。水量調節必要。（伊那峡）	伊那峡上流については、狭窄部の上流で水が滞留し土砂が堆積しやすいこと、水位が上昇しやすいことから、洪水時の災害のポテンシャルが非常に高い場所で、内水の排除、浸水した時の洪水後の速やかな排水する機能として霞堤（開口部）を設けています。今後、このような箇所の土地利用規制等について関係自治体と連携して必要な処置を計っていきたくと考えております。	第3章第1節第1項3(3)狭窄部上流の水位上昇対策P3-11

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	今日までのダム計画はどの様に思われますか。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム建設中止となるのか、美和ダム上流の整備はどうなるのか？ 天竜川の部分については説明があったが。(戸草ダム・美和ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川上流〇〇の岩場、犬わしの件。(〇〇周辺)	必要に応じ調査していきます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	湧水による崩落(崖崩れ)のおそれがある。工事用道路を作る約束を国がしている。道路自体が危ない。	戸草ダム建設にあたっては、工事用道路として補修が必要と考えております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	柏木地籍、崩落の恐れ。	戸草ダム建設にあたっては、工事用道路として補修が必要と考えております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	金が主になるなら国交省は治山治水は止めなさい。(戸草ダム)	治水効果、社会面、環境面、経済面を現時点で総合的に評価して優位性から案を提示させていただいています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダム上流地区はどうでもよいのか。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	過去の災害と違って立木が大きくなって居るのをご存知か。	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めるとともに、今後も河川巡視等により繁茂状況を監視して参ります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) また、ハリエンジュ(ニセアカシア)等の伐採活動が、地域の皆様独自で、あるいは行政との協働で定期的に行われています。その際には参加者募集も行われています。 引き続き地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダムは造るべきだ。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
 ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	川は両側がコンクリートで固められたものは水路であり、それは川と言えない。(明神橋付近・197.0km付近)	天竜川は急流河川で、洪水時の流れが高速、土砂移動も激しいことから堅固な護岸を整備する必要がありますが、今後、ご指摘を踏まえ、環境面に配慮して出来る限りの整備ができるよう検討していきたいと考えています。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	水の流れのある川に戻して欲しい。(7.0～8.0km付近)	発電減水区間では今後とも維持流量の増加に向けて関係者との調整を図ります。	第3章第1節第2項4(1)発電減水区間対策P3-12
天竜川上流河川懇談会	伊那	天竜川、三峰川両河川とも、親水的な箇所があまり見られない。(サイクリングロード付近で子供たちが水に触れる場所等できないか)(5.0～6.0km付近)	水辺ふれあい拠点の整備箇所として上げてはおりませんが、今後とも必要に応じご意見をお聞きしたり関係機関と連携して水辺ふれあい拠点の整備を考えていきたいと思っております。	第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	青島地区の河原の再生はよかった。河川内の木の伐採により引水の機能をもっともたせるべきだ。(5.0～6.0km付近)	引き続き自然再生事業を実施していくと共に、モニタリング調査結果を踏まえながら実施していきたいと考えます。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13 第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	基本計画は天竜川の濁水等で、美和ダムから上流分について配慮が全くない。(美和ダム)	濁水時には関係機関との連携を図っていきたいと思っております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	中アルプス、南アルプスの脆弱な地盤と承知しながら、土砂流出への対応策がない。(美和ダム)	天竜川上流域では過去より砂防事業を実施し土砂災害防止に取り組んでおります。今後も引き続き整備を進めていきたいと考えています。ダムについても堆砂容量を確保しつつも想定以上の土砂堆積が発生したため、現在、バイパストンネル等の堆砂対策等を実施しています。	第2章第3節第4項総合的な土砂管理に関する目標P2-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムの機能回復について事業開始の時にしゅんせつで実施するとしていたが、それが不可能だから重機を使用しての掘削に変更したはず。美和ダムの再開発計画には疑問に思う。(美和ダム)	堆砂掘削計画につきましては、当初浚渫案も検討されていましたが、経済性・施工性等総合的な判断の中で、陸上掘削で実施されたものです。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムから砂を流す場合、生態系等への配慮は？(土砂量/day)(美和ダム)	土砂の排砂については美和ダム洪水バイパストンネルでは、洪水とともに美和ダムに流入し、沈降堆積してしまうウォッシュロードと呼ばれる小さな粒子の土砂を、美和ダム湖を迂回して下流へと導くものです。これは洪水時の三峰川上流の河川水とほぼ同じ状態です。これまでバイパストンネルから3回放流をしてモニタリング調査をおこなっていますが生息生物への短期的な見られない結果となっています。下流への影響については引き続きモニタリング調査をおこなって参ります。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化P3-18
天竜川上流河川懇談会	伊那	発電水の買い取りが可能だとしても、美和ダム、高遠ダム全体の下流域の生活用水、環境用水に影響を受けるのではないかと？(美和ダム・高遠ダム)	現在の用水については、買取は行わないため影響はないと考えています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	高遠市街地の河床が非常に低くなり橋脚が危険な状況である。(弁財天橋付近)	橋梁管理者と情報を共有し適切に対応を進めます。	第3章第2節第1項6許可工作物の適正維持管理P3-25
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダム保全のために美和湖の中程に予備の隧道を作る計画だったがどのようになっているか。(美和ダム)	検討を進めるなかで、現在の湖内堆砂対策施設案となってきております。	第3章第1節第4項1(2)①美和ダム恒久堆砂対策P3-19

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	洪水時に低い堤防を乗り越えてゴミが流入しないような対策を取るようになってほしい。又、田んぼ等に入ってしまった後は、除去作業をしていただきたい。（小和田地区）	河川区域内の不法投棄や出水による流草木等については、撤去処分に努めているところですが、河川愛護月間（7月）には地域の方々や地方自治体等関係機関と協働して「河川清掃」を実施し、不法投棄に対する啓発活動を行っています。 また、地域の皆様独自の河川清掃も実施されております。 今後、新たな取り組みとして監視等に資するための不法投棄マップの作成、看板設置等により不法投棄に対する啓発活動の強化に努めていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。	第3章第2節第1項6流下物の処理P3-25
天竜川上流河川懇談会	伊那	流下能力を確保して上流部が洪水にならないような対策を取ってほしい。（166.0km付近）	狭窄部の上流は、水が滞留し土砂が堆積しやすいこと、水位が上昇しやすいことから、洪水時の災害のポテンシャルが非常に高い場所で、内水の排除、浸水した時の洪水後の速やかな排水する機能として霞堤（開口部）を設けています。今後、このような箇所の土地利用規制等について関係自治体と連携して必要な処置を計っていきたくと考えております。	第3章第1節第1項3(3)狭窄部上流の水位上昇対策P3-11
天竜川上流河川懇談会	伊那	ダムの上流を流す計画であるが、牧ヶ原橋の所は狭窄部となっており、現在でも多量の土砂が堆積している。更に増える心配がある。（中川村牧ヶ原橋付近）	狭窄部の上流は、水が滞留し土砂が堆積しやすいこと、水位が上昇しやすいことから、洪水時の災害のポテンシャルが非常に高い場所で、内水の排除、浸水した時の洪水後の速やかな排水する機能として霞堤（開口部）を設けています。洪水時に堆積した土砂については経年的河床変動などのモニタリングを継続的に実施し、洪水の安全な流下等に支障となる場合には河道掘削等を実施します。	第3章第1節第4項1流砂系の健全化P3-18 第3章第2節第1項3(1)河床・河岸の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	堤防を上げて欲しい。（中川村牧ヶ原橋付近）	狭窄部の上流は、水が滞留し土砂が堆積しやすいこと、水位が上昇しやすいことから、洪水時の災害のポテンシャルが非常に高い場所で、内水の排除、浸水した時の洪水後の速やかな排水する機能として霞堤（開口部）、当地区の場合は特に堤防が壊れないように越流堤を設けています。今後、このような箇所の堤防の高さについては、地域の方たちの意見を伺いながら、また土地利用規制等については関係自治体と連携して必要な処置を計っていきたくと考えております。	第3章第1節第1項3(3)狭窄部上流の水位上昇対策P3-11
天竜川上流河川懇談会	伊那	H18.7月豪雨以上の洪水の場合人家が浸水してしまいます。（中川村片桐地区 坊ヶ沢川）	狭窄部の上流は、水が滞留し土砂が堆積しやすいこと、水位が上昇しやすいことから、洪水時の災害のポテンシャルが非常に高い場所で、内水の排除、浸水した時の洪水後の速やかな排水する機能として霞堤（開口部）、当地区の場合は特に堤防が壊れないように越流堤を設けています。今後、このような箇所の堤防の高さについては、地域の方たちの意見を伺いながら、また土地利用規制等については関係自治体と連携して必要な処置を計っていきたくと考えております。	第3章第1節第1項3(3)狭窄部上流の水位上昇対策P3-11
天竜川上流河川懇談会	伊那	流路の内側となるところは丘状態となり、「川」の役割を全くはたしていません。砂利採取を行い、流下能力を高める対策を望みます。（中川村牧ヶ原橋北付近）	河床の上昇の状況、河道内樹木の繁茂の状況については、監視を継続的に実施し、必要に応じて河床掘削、河道内樹木の伐開等の処置を講じていきます。	第3章第2節第1項3(1)河床・河岸の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	釜口水門の放流量が600トン/秒になっても堤防は大丈夫でしょうか。（中川村牧ヶ原橋北右岸付近）	釜口水門の放流量600m ³ /sは将来的なものであるため、現段階では放流しません。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	棚沢川の水はけが滞り、氾濫のおそれはないか？（棚沢川）	棚沢側合流点付近については、流下能力的な課題もあることから、合流処理を適切に検討して整備していきたいと考えています。	第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開・引堤P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	野底地区と福島地区の間を流れる棚沢川が天竜川に流れ込む場所の土砂、樹木が取り除かれた。天竜川の増水により根底側の堤防が流失してしまう危険がある。（西側から大泉川も流れ込むので）（天竜川、棚沢川合流地点）	棚沢側合流点付近については、流下能力的な課題もあることから、合流処理を適切に検討して整備していきたいと考えています。	第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開・引堤P3-1

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム計画が中止された報道があったが、洪水調整を戸草ダムで行なう説明を受けたが、実施計画は継続されるのでしょうか。是非実施出来るように願う。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダムを中止した場合、中尾～市野瀬～杉島～浦地区下流域の三峰川河川対策についてどのように考えているか。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	船形沢の崩落があるが、合わせて計画を進めるべきだ。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム建設が必要。三峰川の源流域の対策はどうか。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダム保管のためにも早急に戸草ダムを作るべきだ。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム建設が天竜川上流河川整備の基本である。三峰川を治めること。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	天竜川の水利用の合理化で流量を増やすというが、今水利権を持っている人たちから返してもらおうということでしょうか？	水利用の実態の変化や取水施設の統合の可能性など水利権を適正に見直すことにより合理化を進めるもので、結果として河川流量の回復に繋がると考えています。	第3章第1節第2項2(1)水利用の合理化P3-12
天竜川上流河川懇談会	伊那	伊那～伊北。改修後の河床が平瀬状で変化が乏しい。流れ多様化を助長させる工事を。	現在の激特事業では、川の元々持つ特性を活かして出来るだけ単純で平らな河床にならないよう整備をしていきます。	第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開・引堤P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川との合流地点から本川上流については河川巾が少ないため、困難な所もあるが、複断面にて親水のある護岸がほしい。	主に河道断面が不足する区間ですので困難かと思いますが、今後ともご意見をお聞きしたり関係機関と連携して水辺ふれあい拠点の整備を考えていきたいと思っています。	第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	天竜川が市内を流れている伊那市は川のある街であると同時に安全を必要とする街です。	当計画にて治水の安全度が向上するように整備していきます。	—

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
 ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	水神橋は補強しないで、壊れたらかけかえてほしい。(水神橋)	掘削に伴う影響は橋梁の補強することで安全性が確保できるとの結果から、補強のみを行うものです。	第3章第1節第1項1(2)工作物の改築等P3-4
天竜川上流河川懇談会	伊那	・治水安全度の向上 ・親水性(カヌー)の確保 ・オリンピック選手排出	河川整備計画を確実に実施することにより治水安全度を向上させていきます。また、船着き場整備などカヌーなどの利用が可能になるよう整備をしていきます。	第2章第3節第1項洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標P2-3 第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川の治水安全度の向上と親水性の両立(全体)。	伊那伊北では川幅も狭く非常に難しいですが、出来る箇所では川に親しめる場所の整備を推進していきます。	第2章第3節第1項洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標P2-3 第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	諏訪湖から一貫した治水安全度の向上を(全体)	諏訪湖の安全度向上を鑑み500m ³ /s放流を位置づけ、それに耐えうる下流の河道の整備を実施していきます。	第2章第3節第1項洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標P2-3
天竜川上流河川懇談会	伊那	親水、学習施設の整備(全体)	親水施設については関係機関と連携して水辺ふれあい拠点の整備を進めます。学習施設については関係自治体等と連携して整備するものとなるので、当面整備することは難しいと考えています。かわらんべのご利用もお願いいたします。	第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	・河川内樹木の整備は必要 ・親水護岸(合流点)より上流では必要である。(三峰川合流付近) ・積極的な整備は必要。	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めておりますが、地域の皆様や学識経験者からのご意見を反映し一様に樹木伐採するのではなく、景観や河川利用者へ配慮した木陰の創出等のため樹木を残してもおります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) 今後も河川巡視等により繁茂状況の監視に努めつつ、地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行っていきます。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川堤防で除草剤を使っているのか？。過去にH12年堤防で高いダイオキシンの数値が出ています。	堤防除草では除草剤は使用しておりません。水質については定期的に検査を行い、監視を行うとともに、水質の基準値を上回る場合は、原因の特定に努めております。	—

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	市民と天竜川、三峰川を考えると、堤防上の活用を考えてほしい。	水辺ふれあい拠点の整備箇所として上げてはおりませんが、今後とも必要に応じご意見をお聞きしたり関係機関と連携しながら水辺ふれあい拠点の整備を考えていきたいと思ひます。	第3章第1節第3項1(3)人と河川との豊かなふれあいの確保P3-16
天竜川上流河川懇談会	伊那	(全体)河川内樹木は生態系では必要かもしれないが、この伊那地域には河川内でなくても場所はある。河道は整備が必要ではないか。(全体)	河道内樹木については、主に次のような観点で計画的な伐採に努めておりますが、地域の皆様や学識経験者からのご意見を反映し様に樹木伐採するのではなく、景観や河川利用者へ配慮した木陰の創出等のため樹木を残してもおります。 1. 出水時に流下能力に影響がある場合 2. 樹木により川の流れ変わることにより堤防などの河川管理施設に影響がある場合 3. かつての玉石河原を復元し河原固有の生態系の維持の推進(自然再生事業) 今後も河川巡視等により繁茂状況の監視に努めつつ、地域の皆様からのご意見をお聞きしながら樹木対策を行ってまいります。	第3章第2節第1項3(2)樹木の維持管理P3-24
天竜川上流河川懇談会	伊那	・堤防が低い箇所。 ・H18災害のとき危険な水位。 ・中央橋の川幅を広げなくていいのか。 (水神橋～二条橋～中央橋)	河川整備計画では人口資産が集中しており優先的に守らなければいけない箇所については完成堤防にしていきます。その他の箇所は計画高水位までとしますが、河道掘削等による水位低下対策を実施することにより、平成18年と同規模の洪水が発生した場合も安全はほぼ確保されると考えています。また中央橋付近上流については、ご指摘のとおり川幅は狭いですが、河床掘削により対応できると考えています。	第3章第1節第1項2(1)洪水の通常的作用に対する安全性の強化P3-6
天竜川上流河川懇談会	伊那	伊那市中央区上牧水神橋付近のカーブは堤防が薄い(厚さが無い)が堤防の巾を広くするか。(北河原付近・195.0km付近)	今回の整備計画において堤防整備を実施します。	第3章第1節第1項2(1)洪水の通常的作用に対する安全性の強化P3-6
天竜川上流河川懇談会	伊那	伊那市の御園水神町の旧伊那中央病院の側の堤防は低いのではないかと？(御園水神町)	今回の整備計画において堤防整備を実施します。	第3章第1節第1項2(1)洪水の通常的作用に対する安全性の強化P3-6
天竜川上流河川懇談会	伊那	伊那市中央区、H18年の災害のとき中央橋付近が水位が上がったが、川巾を広げる必要はないのか？(中央橋付近)	また中央橋付近上流については、ご指摘のとおり川幅は狭いですが、河床掘削により対応できると考えています。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	・辰野町、かっぱの伝説の河原の様子が変わっている。 ・30yr、その先まで見すえてどのようなイメージをもっているのか？ ・どんな川にしてゆきたいのか？(辰野町羽場下井)	河道掘削等の河川整備においては多様な動植物を育む瀬や淵、礫河原等の環境の保全に努めます。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川上流には大崩壊地が各所にあり、野放し状態になっている。そのことを周知すると共に安全な三峰川整備を。(三峰川)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川60km全体の治水対策を含めた天竜川河川整備計画とされたい。そのためには戸草ダムは不可欠である。(三峰川)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダムの治水状態を良くすることだが、それで大丈夫か。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダムの建設廃止で治水は大丈夫か。(戸草ダム)	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム計画地より上流は三峰川に流れ込む中小河川に殆ど手が入っていない。森林管理上からも道路含めた河川整備が必要である。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	上流域の整備が必要。戸草ダム建設すべし。(戸草ダム)	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷村、釜口水門との関係？ ・戸草ない前提では困る。 ・S34,36、S57,58災害の時の被害が大きい。流木が大きい。 ・下流の法は流木被害の話がない。(戸草ダム) 	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム <ul style="list-style-type: none"> ・長谷村の古く昔からの話は知っている。 ・流木、崩壊地が多い。10yrくらい仕事をしている。 ・上流の手当てはどうするのか？。(戸草ダム) 	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	河川災害の原因と思われる森林(水の貯水機能)の植林、整備等に重点を置くことも考慮されたい。	ご意見を踏まえP3-1の記述に「また、関係機関との調整を図り、風水害を防備する良好な山林づくりへの協力を努める。」を追加しました。	第3章第1節第1項洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項P3-1
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム、住民意見を求めるのは後先なのか？ステップⅡであるのか？ <ul style="list-style-type: none"> ・長谷村に居住。美和ダムは伊那市の発展に寄与 ・戸草は美和ダム上流の安全は確保できてない。 ・安全な計画、ダムいるか。(戸草ダム) 	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
 ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	・S34,36豪雨。戸草ダムをやらないのか？不安になる。安全になるのか？ ・S36,34の災害対策ができるのか？（戸草ダム）	戸草ダムの治水上の必要性は変わらないものの、戦後最大洪水規模相当の洪水を目標とした段階的な計画である河川整備計画では平成18年7月豪雨による被害を鑑みると、限られた予算の中で、早期に天竜川上流部の治水安全度を確保するためには、美和ダム等の既設ダムの洪水調節機能の強化が最適であると判断し、河川管理者の選択案を示したものです。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	戸草ダム建設中止に対して三峰川上流の対策に対して知りたい。（戸草ダム）	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	・戸草ダム中止ありきで進むのはどうか。 ・美和ダム上流域の対策が出来ていない。 ・上流よりの流木の流入が多い。 （戸草ダム・美和ダム）	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	S20-30、水遊び、魚の住める地域にしたい。環境を守る必要あり。（粟沢堀弘橋付近）	多様な動植物を育む瀬や淵、礫河原等の環境の保全に努めます。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	整備計画に源流域の砂防や治水の具体的な提案を。（三峰川）	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	美和ダム上流の安全確保計画を加えること。（美和ダム）	ご意見を踏まえ美和ダム上流域の対策については、P3-5の記述を「美和ダム上流域において関係機関と調整を図りながら土砂対策・河床安定化対策等を実施する。」と修正しました。	第3章第1節第1項1(3)①美和ダム等既設ダムの洪水調整機能の強化P3-5
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川と黒川合流点の親水護岸と安全流路の整備。（三峰川、黒川合流地点）	長野県の管理区間のため、ご指摘の意見は長野県に伝えました。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	・美和ダムの安全性は確保できるのですか？ ・林森は水の貯蔵庫？この点をどのように評価しているのか？ ・縦割り等行政の弊害？（美和ダム）	美和ダムの洪水調節容量を増加し運用しようとするものでダムの安全性に影響を与えるものではありません。治水計画は現状の森林による貯留機能を前提に計画しております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	ダム下流域水区域の維持流水の確保を定める。天竜川全体で。（7.0～8.0km付近）	発電減水区間では今後とも維持流量の増加に向けて関係者との調整を図ります。	第3章第1節第2項4(1)発電減水区間対策P3-12
天竜川上流河川懇談会	伊那	農業用水確保。（伊那市河南）	適正に必要な水利用は今後とも確保に努めます。	第3章第1節第2項2(1)水利用の合理化P3-12

住民の皆様からいただいた意見に対する考え方（H20.7.25版）

- ・書面でいただいたご意見は原文のまま記載しています。付箋でいただいたご意見は主旨を踏まえ内容を補足して記載しています。発言でいただいたご意見は内容を要約して記載しています。
- ・「多くのご意見をいただきましたので、現時点での河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川のかすみ堤は安全のため残してほしい。(三峰川)	霞堤は先人の大きな知恵として継承していきたいと考えています。	第3章第1節第1項3(3)狭窄部上流の水位上昇対策P3-11
天竜川上流河川懇談会	伊那	・環境にやさしいダム。 ・自然にやさしいダム。 ・ダムも必要であるが、全ての河川環境を守る必要もある。(三峰川)	ダム及び河川整備においても、治水、利水、環境、利用を総合的に勘案して推進していきたいと考えております。	—
天竜川上流河川懇談会	伊那	三峰川の自然再生を継続して行なうこと。(三峰川)	自然再生事業は今後もモニタリングを行いながら継続する予定です。	第3章第1節第3項1(1)良好な自然環境の保全・創生P3-13
天竜川上流河川懇談会	伊那	サンヨリコヨリの祭りを河の文化として残す。	河川に係わるまつりの文化を残していくことは重要なことだと認識しています。	第3章第1節第3項3(1)人と川との関係の再構築P3-16